

越前市議会だより

第62号

令和2年(2020年)11月13日(金)
発行 編集 越前市議会
〒915-8530
福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL:0778-22-3426
FAX:0778-23-3000
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



開業に向け架設工事進行中

新幹線高架橋が高速道路をまたぐ

9月15日に開催された公共交通対策特別委員会では、新幹線高架橋の架設工事が進む庄町および南越駅(仮称)予定地の現場視察を行いました。

庄町および北町地係において実施された、北陸自動車道の上をまたぐ北陸新幹線武生架道橋架設工事は、市内最長の桁を架設するもので、8月に国内有数の大型クレーン(1250トン)を据え、橋脚に高速道路をまたぐ梁が設置された後、9月14日から16日には、庄町側の橋脚から北町側の橋脚に向けて桁を送り出す作業が行われました。

同委員会では、2023年春の北陸新幹線金沢―敦賀間の開業に向け、地域公共交通の整備および利用促進に関し、総合的に調査研究を進めていきます。



9月定例会の概要

令和2年9月越前市議会定例会は、9月1日から9月23日までの23日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和2年度一般会計補正予算案など予算案2件、越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正についてなど条例案2件、市道路線の認定及び変更についての一般議案1件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。

また、教育委員会教育長、教育委員会委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、農業委員会委員、人権擁護委員に関する人事案20件に同意しました。

このほか、地方財政の充実・強化を求める意見書など意見書案2件を可決、請願1件を不採択としました。

各決算認定案8件については、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案審議
- 3面 ◆ 審議結果
- 4～6面 ◆ 一般質問
- 6面 ◆ 研修報告ほか
- 7面 ◆ 委員長報告
- 8面 ◆ 議場見学

9月定例会 議案審議

9月補正予算

一般会計 6億8,580万1千円の追加補正 (補正後総額 456億913万円)

- 大型遊具老朽化対策による武生中央公園の魅力向上事業費
- 民間保育園での一時預かり事業の国基準改定に伴う委託料の増額 ほか



補正予算審議

武生中央公園の大型遊具を更新 観光施設管理事業 2千万円

問 事業内容と予算2千万円の内訳は。

答 武生中央公園の大型遊具の老朽化対策として、国・県の補助金を活用しながら、令和2年度から令和4年度にかけてコウノトリ広場等の整備と大型遊具の一部更新を行い、公園の魅力向上を図るものである。

今年度執行分として予算計上した2千万円の内訳については、コウノトリ広場の実施設計委託料350万円、アストロファイターの更新およびコウノトリ広場の一部整備に係る工事費2年分のうち初年度の前払い金として1650万円を計上している。

問 昨年、菊人形の最終日にモノレールが停止したが、その後の対応は。

答 令和2年度当初予算においてモノレールの修繕費を計上し、8月に修繕が完了している。今後、冬季を除く9月以降の土曜日、日曜日、祝日において、ほかの遊具と一緒に運行していく。今後とも安全・安心な大型遊具の管理に努め、武生中央公園のにぎわい創出を図っていく。



最も設置年度の古いアストロファイター

再生エネルギー活用の調査を実施 南越駅周辺まちづくり事業調査等委託料 991万1千円

問 事業内容は。

答 再生可能エネルギーを活用した事業

について経済的、環境的、また社会的側面から再生可能エネルギーの利用状況の調査と導入実現性の調査、課題の整理、事業の可能性の評価を行うものである。

問 調査の目的は。

答 南越駅周辺まちづくり計画の理念であるフォレストシティと越前市版スマートシティの実現を目指し、Society 5.0をにらんだスマートシティを形成するためには、コアとなる先端技術産業の企業誘致、AI、IoT関連やコア企業関連の中小ベンチャー企業の誘致、官民オープンイノベーションなどの実現に向けた取り組みが大切であるため、再生可能エネルギーの活用に関する調査を行うなど、エリアの付加価値を高め、民間企業誘致につながるよう調査研究するものである。

問 現在、市の再生可能エネルギーに関する取り組み状況は。

答 現在、環境基本計画の中では再生エネルギーの取り組みについて具体的な言及、また方策等については記載していない。

再生可能エネルギーについては、環境を維持し、社会を発展させていくためには重要なエネルギーであること、また県においては県長期ビジョンの中で二酸化炭素の排出抑制に向けて再生可能エネルギーの導入を促進すると明記していることから、まずは再生可能エネルギーについて行政および市民、事業者がどのように取り組むべきか、令和3年度に行われる市環境基本計画の改定の中で議論していきたいと考えている。

産地連携のプロモーションを実施 観光推進事業 175万円

問 事業の内容と目的は。

答 世界のプロが認める製品の産地である新潟県燕市、三条市、富山県高岡市、越前市の4市が連携しながら海外のプロモーションを進めていくものである。

問 4市の具体的な取り組みは。

答 在日の欧州系旅行会社のランドオペ

レーターを招いて、モニターツアーを各産地で実施し、体験紀行レポートをネットを通して発信していく。また欧州をターゲットとし、英語、フランス語、ドイツ語の3カ国語による観光パンフレットを作成し、配付するということを各産地のほうで連携して取り組んでいくものである。

道の駅のレイアウトを変更 北陸新幹線南越駅周辺整備事業 6100万円

問 令和2年度、令和3年度の継続費として、6100万円増額となった理由は。

答 道の駅のレイアウト変更に伴う床面積の増加によるもので、具体的には、吹き抜けの一部テナントに変更したほか、1階に対面販売を想定したスペースを増設したものである。

問 物産販売所の強化についての考えは。

答 現在、物産販売所の仕掛けについては、事業者のほうで協議しているところである。

今回のレイアウト変更では、物産販売所を囲むようにテナントを配置することにより、物産販売所の動線も良くなるよう考慮している。



物産販売所イメージ図

9月定例会で 議決された人事

教育委員会教育長の任命に同意

中島 和則 氏(家久町)

教育委員会委員の任命に同意

澤崎 郁子 氏(文京二丁目)

公平委員会委員の選任に同意

寺田 昇市 氏(桂町)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

岩坂 桂子 氏(粟田部町)
倉橋 宏実 氏(村国二丁目)
丸岡 二朗 氏(国高二丁目)

農業委員会委員の任命に同意

小柳 忠敬 氏(北町)

永木 良和 氏(西樫尾町)

野村 宗雄 氏(矢船町)

川端 吉秋 氏(勾当原町)

奥山 紀昭 氏(三ツ俣町)

島中 崇宏 氏(広瀬町)

橋詰 實雄 氏(池泉町)

中嶋 泰子 氏(新町)

見延 喜久治 氏(国中町)

近藤 市郎右衛門 氏(余田町)

富田 隆 氏(国兼町)

石本 正則 氏(波垣町)

杉本 寛重 氏(小野谷町)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

石井 由紀世 氏(幸町)

議案の議決結果

令和2年9月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果	議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第66号	令和2年度越前市一般会計補正予算(第9号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)	議案第85号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第67号	令和2年度越前市介護保険特別会計補正予算(第1号)	教育厚生	可決(全員)	議案第86号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第68号	令和元年度越前市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第87号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第69号	令和元年度越前市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第88号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第70号	令和元年度越前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第89号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第71号	令和元年度越前市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第90号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第72号	令和元年度越前市産業団地造成特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第91号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第73号	令和元年度越前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第92号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第74号	令和元年度越前市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第93号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第75号	令和元年度越前市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	継続審査(全員)	議案第94号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第76号	越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	教育厚生	可決(多数)	議案第95号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第77号	越前市勤労者児童会館設置及び管理条例の廃止について	産業建設	可決(全員)	議案第96号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第78号	市道路線の認定及び変更について	産業建設	可決(全員)	議案第97号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第79号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)	議案第98号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第80号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)	意見書第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	総務	可決(全員)
議案第81号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)	意見書第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	総務	可決(全員)
議案第82号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)	請願第2号	「日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書」に関する請願	議会運営	不採択(賛成少数)
議案第83号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)				
議案第84号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)				

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議案	賛 否																					
	会派 創至					市民ネットワーク				誠和会(自民)				政新会			共産		未馬会		諸 諸	
	中西昭雄	清水一徳	吉村美幸	題佛臣一	小形善信	砂田竜一	小玉俊一	吉田啓三	三田村輝士	大久保健一	川崎俊之	前田一博	片粕正二郎	安立里美	川崎悟司	城戸茂夫	加藤吉則	前田修治	橋本弥登志	近藤光広	桶谷耕一	大久保恵子
越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について(可決)	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
「日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書」に関する請願(不採択)	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	欠	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×

(注) 議長は採決には加わっていません。 共産：日本共産党議員団 諸：諸派

- (産業建設分科会)**
 会長 小玉俊一
 副会長 中西昭雄、大久保健一、大久保恵子、川崎悟司
- (教育厚生分科会)**
 会長 吉田啓三
 副会長 清水一徳、桶谷耕一、川崎俊之、前田修治、安立里美、橋本弥登志
- (総務分科会)**
 会長 小形善信
 副会長 加藤吉則、砂田竜一、吉村美幸、片粕正二郎、近藤光広、橋本弥登志、大久保恵子、川崎悟司、城戸茂夫、前田修治
- 決算特別委員会**
 委員長 大久保健一
 副委員長 片粕正二郎、中西昭雄、清水一徳、近藤光広、小玉俊一、加藤吉則、川崎俊之、安立里美、小形善信

決算特別委員会を設置

9月定例会に提案され、閉会中の継続審査とした令和元年度各会計決算認定8案を審査するため、9月4日に議長及び議会選出監査委員を除く議員20名による決算特別委員会を設置しました。常任委員会の構成に合わせて、総務・教育厚生・産業建設の3分科会に分かれて定例会終了後に審査し、全体会で採決します。審査結果は、12月定例会で報告されます。

9月定例会 一般質問

9月定例会では、17人の議員が9月7日～9日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

教 育

市小・中学校の授業の進捗状況は

問 新型コロナウイルス感染拡大により学校が約3カ月間長期休校となった。休校分の授業時間を取り戻すため市の小中学校の夏休みを9日間に短縮したが、授業の進行状況を示して欲しい。

答 臨時休校中はプリントや教科書、学習動画により家庭学習を支援した。また夏休みを大幅に短縮することで不足した授業時間を確保し、9月1日現在、全校において授業の遅れはほぼ取り戻せている。今後、1学期にできなかった学校行事も実施する。

他の質問項目

- ・スクールバスについて
・地域公共交通の支援について



市民ネットワーク 砂田 竜一

コロナ禍のもとで教育・子育て環境を守れ

問 教育環境の向上と、三密を避けるためにも三十人以下の少人数学級を早期に実施すべきではないか。また、当面の数カ月間だけでも生活支援策として給食費の無償化を実施できないか。

答 各教室での机の配置は最大限の間隔をとるなど三密の回避を徹底している。学級編成は国や県で検討すべき内容と考える。県内では給食費の無償化を実施した市町があるが、本市では従来どおりのスタイルで実施したい。

他の質問項目

- ・教室の机や椅子の消毒作業は、業務委託で教職員の負担軽減を図るべき
・臨時休校期間の就学援助による給食費は国の指導にそって例外的に支給するべき



日本共産党議員団 前田 修治

コロナ禍における教育委員会の対応について

問 学校再開後、新型コロナウイルス感染対策に不安を抱える子供や保護者への対応の具体的内容は。

答 本市の公立幼稚園及び小・中学校は、6月から再開している。児童生徒に対する小まめな手洗いや咳エチケットの指導、教室の換気や消毒液を使用した拭き取り、児童生徒へのきめ細かな健康観察や健康相談、差別や偏見が生じないよう新型コロナウイルスに関する正しい知識の指導などを実施してきた。

他の質問項目

- ・生活困窮者への支援について
・ふるさと納税の現状について



会派創生 よしむら 美幸

コロナ禍での教育現場の対応は

問 不登校気味や気がかりな児童生徒への対応と、「子育てファイルふくいっ子」の活用状況は。

答 生活に関する意識調査の結果を基に、教育相談やスクールカウンセラーによるカウンセリング、不登校自立支援員による学習支援を行っている。支援を必要とする子どもに対し、状況に合わせた個別のニーズを把握し、県が独自に作成した「子育てファイルふくいっ子」を活用することで幼児期から学齢期、青年期への切れ目ない支援に役立っている。

他の質問項目

- ・雇用現場での影響について
・障がい者就労支援について



会派創生 たいぢ 健二

社会資本整備

本市の社会資本整備について

問 丹南広域農道の四車線化の必要性と今後の進捗、本線以外の都市計画道路の課題解決の見通しは。また、地域に密着している社会資本整備とのバランスや、市と地域の役割分担について市の考えは。

答 丹南広域農道の整備は道路ネットワークの強化のため必要であり、県にも他の路線の整備も含め強く要望していく。各地域の社会資本整備については、長期視点や市民生活視点の両面から地域の声を聞き、バランスよく整備していく。



会派創生 中西 昭雄

公共交通

並行在来線について

問 開業に向けた総合的な課題と運営方法を示せ。

答 会社として経費削減の徹底、利用促進対策の推進など経営努力と改善を継続していく必要がある。また、行政、企業、住民の理解や協力を得ながら経営を維持することも重要な視点と考えている。県は、「沿線市町の財政負担が過大とならないよう配慮する」との基本方針を決定しており、今後も市町の負担軽減を県に強く要望していく。

他の質問項目

- ・伝統工芸品の支援について
・中学校部活動の現状と課題について



誠和会(自民) 川崎 俊之

祉

子供のインフルエンザ予防接種助成を早急に

問 インフルエンザ流行とコロナ流行の同時発生が考えられることから、政府はインフルエンザワクチンの接種を高年齢者優先に加え小学校低学年までの接種も優先するとした。すでに県内8市町が助成している。市も助成をすべき。

答 インフルエンザワクチン接種は任意接種で、医療費助成の対象外となっている。県市長会が県知事に「インフルエンザ任意予防接種助成制度の創設等に関する要望書」を提出するので、県の動向を注視していきたい。

他の質問項目

- ・地域包括支援センターの機能強化について
・越前市におけるひきこもり対策について



政新会 安立 里美

福

香害(かがい)問題

問 香害についての認識とその対策および周知について考えを示せ。

答 香害とは、柔軟剤、消臭除菌スプレー、制汗剤、芳香剤、合成洗剤などの強い香りを伴う製品による健康被害のことで、体臭は含まれないとされている。このことは「化学物質過敏症」としての問題として捉えていくことが重要だと考えている。今後、先進例や当事者団体の情報を参考に、周知方法を研究していきたい。

他の質問項目

- ・地方創生について
・男女共同参画について



末馬会 橋本 弥登志

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために
行う質問のことをいいます。

産業

これまでの新型コロナ対策における産業支援

問 これまでのコロナ対策において市単独で資金を捻出した事業はあるのか。また、その資金はどこから捻出しているのか。

答 市独自の新型コロナウイルス感染症対策事業費の総額は、10億2636万8千円である。取り崩した財政調整基金や繰越金に地方創生臨時交付金と三国競艇企業団特別配分金を充当し、一部を組み戻した結果、市単独の資金は、4318万3千円となる。

他の質問項目

・近年の異常気象におけるコロナ禍での防災



市民ネットワーク
吉田 啓三

観光

インバウンド事業について

問 市観光協会の組織強化についての取組みを。市では、インバウンド事業を通し、市観光協会の人材確保や育成を進めてきた。事業終了後も効率的な事業継続ができるよう、育成指導に努めているところである。今後、受け入れ環境の整備や商社機能の研究など、収益の仕組みを構築することにも、誘客や商品造成ノウハウを引継いでいくため、新たな職員の採用を市観光協会で検討している。

他の質問項目

・千年未来工芸祭の内容結果と今後の課題について



会派創至
清水 一徳

選挙

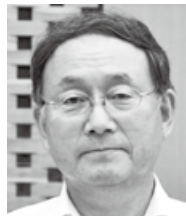
投票率の低下・若者の選挙離れについて

問 若い世代が集まる商業施設に、期日前投票所を設置することで、投票機会を増やし、投票率向上に繋げることができると考える。期日前投票所を増やす考えは。

答 期日前投票所を増設することは、有権者の利便性を高め、投票機会の拡大に繋がる有効な手段であると認識している。増設については、諸問題を整理しながら、まずは来年執行予定の市長選挙を目標に準備を進めていく。

他の質問項目

・第8期介護保険事業計画について
・地域包括支援センターの機能強化について



諸派
桶谷 耕一

防災

異常気象に伴う大規模災害の対応について

問 市国土強靱化地域計画策定における、吉野瀬川流域のハード面での整備状況を。市国土強靱化地域計画策定における、吉野瀬川流域を含む河川にリスクシナリオを設定し、回避策として、河川整備の計画的実施等を位置付けている。治水対策として、合流する流域の継続的な堆積土砂の浚渫等を実施し、また、大雨時に雨水を一時的に水田に貯める水田貯留事業を実施している。引き続きこれらの事業推進、拡充を図り、河川改修事業と併せて治水安全度の向上を図っていく。

他の質問項目

・外国人に対する住民税の課税について
・コロナ禍での越前市独自の支援策について



未馬会
近藤 光広

情報公開

情報公開制度の見直しを求める

問 最高裁判決を受けて、先進自治体のように①審査会委員に公募枠を②審査会の選任は議会の同意を③審査会の原則公開と会議録の原則公開を、それぞれ求める。

答 県および県内他市においても公募による委嘱は行っており、本市も考えていない。委員の選任は、有識者団体からの推薦を基に適任者を選任している。審査会の公開については、守秘義務を課せられない一般の傍聴を行うことはできない。会議録の公開は他市の状況を調査し、審査会と協議したい。

他の質問項目

・男女共同参画推進室の再興
・マイボトル利用促進について



諸派
大久保恵子

耐震

建築物の耐震化促進の現状と課題

問 住宅耐震化促進プログラムの目標達成・普及を目指して、代理受領制度の導入および補助金額上限の増額についての所見は。

答 代理受領制度を実施している自治体に導入効果等聞き取りを行い、研究していく。補助金額の限度額については、全体改修時100万円、部分改修時30万円、伝統的民家改修時170万円となっている。増額については、国・県の補助が財源のため、その動向を注視していきたい。

他の質問項目

・町内集会所の耐震化の現状と改修しやすい助成を
・通学路の安全確保―危険ブロック塀等に対し国の事業の活用を



日本共産党議員団
加藤 吉則

市政方針

コロナ禍における現状と今後の対応について

問 コロナ禍における現状と今後の対応について。社会構造を変える脱コロナ対策や人権侵害への対策などにより、コロナ以前よりも暮らしやすい越前市にするための市の意向は。

答 市民の命と健康を守ることを第一に、市対策本部会議をこれまでに47回開き全庁を挙げて感染拡大防止に取り組んできた。人と人との接触が大きく制限された結果、様々な場面で新しい生活様式の実践が強く求められている。市民の協力をいただきながら、人と人とのつながりを生かせる取り組みを進めたい。

コロナ禍後の社会変化に市に希望を託せるか

問 実質公債費比率がピークとなる時期に、事業の選択と集中をさらに進め、行財政運営を引き締めていく必要があると考えるが、持続的で健全な財政運営と市民が夢を託せる政策の推進に向けて、その意向を示せ。

答 一つ一つの投資効果を見極めつつ、今後も市行財政構造改革プログラムVの推進を図りながら、健全財政を維持する。その中で、引き続き必要な事業に着実に取り組みながら、市民が夢と希望を持てるまちづくりを進めていきたいと考えている。



政新会
城戸 茂夫



政新会
川崎 悟司

9月定例会
一般質問

指定管理

もやいの郷・農楽園について

問 もやいの郷が昨年度より指定管理から直営による管理に変更になった理由とは。また、直営化にあたり民間活力の導入や施設設置目的の見直しなどの検討を行ったか。そして、指定管理者評価委員会の評価は。

答 もやいの郷は広域的な誘客や地域の活性化につなげられる運営を研究するため直営施設とした。また、現時点では研究段階のため、設置目的の変更は行っていない。指定管理評価委員会の評価は7段階中5となっている。

他の質問項目

・市道、県道、国道の維持改修事業について
・コロナ禍における防災対策について

市民ネットワーク
小玉 俊一



各議員席に設置されたアクリル板

議場にアクリル板を設置

9月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として、議場の議員、理事者全員の席にアクリル板を設置し、発言時間や出席人数は通常どおりに戻して開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策を適切に行いながら、これまでどおり十分な審議が行えるよう努めていきます。

議会 TOPICS

タブレットの文書閲覧システム
更新に向けて合同デモに参加

越前市議会では、効率的で迅速な議会運営・議案審議、情報の共有、議会の活性化など、市民に開かれた議会の実現とさらなる議会改革を推進するため、平成29年から全議員にタブレット端末を貸与し、議案や会議資料等は電子化したものをタブレットの文書システムにより閲覧しています。

令和3年度にシステムの更新を行うにあたり、8月19日に、議会運営委員会と議会活性化特別委員会の委員が、複数の業者による文書システムの合同デモに出席しました。

来年度のシステム更新に向け、今後も調査を行い、より迅速な議案の審議と、ペーパーレス化を目指していきます。



オンラインで説明を受ける議員

研修報告

Training report

丹南地区市町議会議長会議員研修会

「国家動向(今後の展望)への

ロードマップとは」

—テレワーク時代の幕開けと

「標準化」への道導—



丹南地区市町議会議長会議では、毎年、丹南地区2市3町の議員が参加し、丹南地区の諸問題や議会の活性化など共通する課題を解決するための研修会を実施しています。

今年10月22日(木)、講師に武城文明氏(総務省地域情報化アドバイザー)を迎え、「国家動向(今後の展望)へのロードマップとは」をテーマに開催しました。

講演では、人口減少時代における自治体のスマートシティへの取り組みや、ICTを活用した行政の業務改革についての説明があり、質疑応答では、議員からマイナンバーカードの有効性や今後の課題について質問がなされるなど、活発な意見交換が行われました。



福井県市町議会議員合同研修会

「議事機関としての質疑・質問

のあり方とは」

「最新の国際情勢と日本の針路」

県内の9市議会と8町議会は、地方議会の活性化と、地方議員の更なる知識と教養を深めるため、毎年合同で研修会を開催しています。

今年10月26日(月)に福井市フェニックスプラザで行われました。講師に早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員(兼)ローカル・マネージャーである長内紳悟氏、早稲田大学大学院教授の川村亨夫氏をお招きし、「議事機関としての質疑・質問のあり方とは」、「最新の国際情勢と日本の針路」をテーマに開催され、研修会に参加した総勢約300名の議員は、講師の講演に対し熱心に耳を傾けていました。



委員長報告

提出された議案を審査するため、9月10日～14日に各常任委員会、15日に公共交通対策特別委員会を開催しました。
本会議最終日に行われた委員長報告の一部を紹介します。

委員長報告全文は11月下旬掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム 検索

教育厚生委員会

寡婦の医療費助成制度の継続を

問 ひとり親家庭等医療費の助成の対象から寡婦が除外されることについては、県補助金がなくなるための理由だが、市の単独予算で継続することは議論されなかったのか、また、コロナ禍で大変な中、なぜ、この時期に改正を提案するのか、医療費助成がなくなることで、生活困窮になるのではないかと。

答 この条例は戦争未亡人の救済措置として始まったものであり、時代の要請に応じ婚姻の有無、性別の違い、死別と離別の違いなど、異なる適用要件を整理し、子どもを養育するひとり親家庭を支援する方向へと流れが変わってきており、子どもが独立した寡婦に対する医療費助成は、全国的にも3つの県しか実施していない。今回、福井県においても改正の方向となったことを受け、市としても単独予算での継続を議論したが、生活困窮者自立支援などの制度が整備されてきたことから、改正したいと考えている。

また、対象者については、個別に相談対応を行うとともに、助成制度の廃止を理由とした生活困窮者に対しては、市社会福祉課および市社会福祉協議会など関連機関と連携し、特に十分な相談対応を行っていききたい。

しぎぶ温泉湯楽里の負担金増額理由は

問 新型コロナウイルス感染症の影響による4月、5月分の光熱水費の負担金の増額だが、市が指定管理で行っている施設すべてを統一した考えで増額するのか、所管によって違いがあるのか。また、しぎぶ温泉湯楽里のほかにも、同様な措置を行う施設があるのか。

答 一般的な指定管理施設が運営費の多くを市からの委託料で賄うのに対し、しぎぶ温泉



道の駅イメージパース(外観)

産業建設委員会

道の駅のレイアウト変更に至った経緯は

問 道の駅のプロポーザル選定の後、あまり時間を置かずレイアウトが変更になったが、その過程は。

湯楽里は利用者増加のインセンティブのため、全体収入の97%を施設営業による利用料金収入で運営を行っている。従ってこれは国や県の休業要請により休業した期間中、利用料金収入がない中でも発生する光熱水費などの固定費への支援措置であり、今回、全ての施設を対象に検討したのではなく、湯楽里単独で検討した。なお、ここまで収入が利用料金に特化した指定管理は、市ではこの施設のみである。

他の報告事項

- 公立保育園管理運営事業および民間保育施設等感染症対策事業について
- 学校施設等感染症対策事業について

答 今回のレイアウト等の変更については、道の駅の機能をより充実させるため、運営事業者、設計業者及び市が十分に協議し、基本設計を進めていく中で話し合い、決定したものである。

岩内山視点場整備工事は

問 岩内山視点場整備工事は、駅周辺の知名度および魅力の向上、並びにまちづくり計画に掲げるフォレストシティの実現を目指して整備するものであり、岩内山から新幹線および駅周辺が見渡せるようにするため、構造物のような展望台ではないものの、樹木伐採等を行い、周辺を一望できるような場所を整備するものである。

答 新幹線開通にあたり、駅周辺の知名度および魅力の向上、並びにまちづくり計画に掲げるフォレストシティの実現を目指して整備するものであり、岩内山から新幹線および駅周辺が見渡せるようにするため、構造物のような展望台ではないものの、樹木伐採等を行い、周辺を一望できるような場所を整備するものである。

問 本整備について、地元との協議では具体的な話がなかったように聞いているが、地元への説明はどのようになされているか。

答 地元へはこれまでも説明しており、整備内容については、今後、地元の役員会などで説明していく予定である。



南越駅(仮称)予定地と岩内山

大型遊具修繕の方向性は

問 大型遊具はどれも年数が経過したものでありであるが、今後の大型遊具の修繕の方向性はどうか。

答 武生中央公園には5つの大型遊具があるが、全ての大型遊具を同様の機種に更新すると約7億2千万円もの多額の費用を要する

ることから、国、県の補助金を活用しながら武生中央公園全体を考慮の中で、遊具の一部更新とエリアの空間整備を兼ね合わせることで、公園の魅力を上向きにしようと考えている。今回、改修を予定しているアストロファイトを除いた4つの大型遊具については、今後、加古総合研究所の監修や議会の意見をふまえ、更新の在り方について、検討したいと考えている。



武生中央公園コウノトリ広場の大型遊具

総務委員会

コロナ対策事業の市の持ち出し分を

問 今回の補正予算計上後、臨時交付金の残りは1億円とのことだが、今後どのような事業を見込んでいるのか。

答 県の経営安定資金に対する利子補給の基金積立分や、現在進めている市の窓口改革に係るシステム導入、またバス運行状況のデータ整備等を検討しているところである。

問 新型コロナウイルス感染症対策に関する事業については、そのほとんどが国や県の補助金が充てられているが、市の実際の支出はどれくらいになるのか。

答 現時点では、約4300万円が、市の持ち出し分となっている。

災害時にはWeb会議の円滑な運用を

問 災害時に、市の災害対策本部となる本庁3階の大会議室と、あいはらく今立との間で、音声や映像のやりとりを可能にするというこ

とだが、使用時に通信トラブルが発生した場合の対応策は考えているのか。

答 例えば、外部の民間団体とのWeb会議時に、相手方のインターネット回線状況が悪い場合、通信がストップしてしまうということがあるが、本庁とあいはらく今立との間の通信環境については、物理的な回線途絶がない限りは、支障はないと考えている。

問 このシステムを構築する上で、今後メンテナンス等の費用は発生するのか。

答 特別な保守費用は必要ないと考えているが、端末については、通常耐用年数は5年から10年とされているため、更新時期を見ながら、適切に対応していきたい。

公共交通対策特別委員会

南越駅周辺と並行在来線を優先課題に

本特別委員会は、令和2年7月臨時会において、北陸新幹線の延伸、および南越駅(仮称)の開業に伴う地域公共交通の整備、および利用促進に関し、総合的に調査研究を進めるため、設置されたものであり、9月15日に、関係理事者の出席をもとめて委員会を開催した。

まず、理事者から北陸新幹線金沢―敦賀間の開業に伴う課題等、公共交通対策に係る現状と課題について説明がなされ、その後、委員間討議を行い、今後取り組むべき調査内容について協議した。

公共交通対策に係る課題については、並行在来線会社の運営に関すること、二次交通の確保、コミュニティバス、福井鉄道福武線の確保・支援、高齢者の足の確保など、多岐にわたっており、調査研究の対象は幅広いが、南越駅(仮称)周辺のまちづくりに関すること、また、並行在来線の今後の在り方についてを優先的に取り組むこととし、今後、関係機関との意見交換や、現場視察などを行いながら、調査、研究していくことを確認した。

また、同日の午後から、北陸自動車道の上に北陸新幹線の高架橋が架設される庄町の現場と、南越駅(仮称)周辺の視察を行い、理事者から現状についての説明を受け、より見識を深めた。

今後、優先的に調査研究する課題を含め、総合的に調査研究を進めていく。



小学生が議場を見学

よつこそ議場



10月2日(金)に花筐小学校5年生29名の児童のみなさんが、議場見学に来られました。地元議員である小玉俊一議員から、議会の仕組みや役割について説明を受けると、みなさん熱心にメモを取っていました。児童のみなさんは、「あのテレビは何に使うのですか?」「このボタンは何ですか?」などと、元氣よく質問をしていました。

見学の最後には、議員や理事者のイスにみんなで座り、議会を体験してもらいました。

児童からは、「会議をするときには、ボタンを押して「賛成」や「反対」をするのが分かりました」などの感想が寄せられました。



議会中継は 丹南ケーブルテレビや インターネット・スマートフォン でもご覧いただけます

インターネット・ スマートフォンの場合

本会議の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごとに見ることができます**。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

①越前市議会をクリック



②インターネット議会中継をクリック



丹南ケーブルテレビ の場合

丹南ケーブルテレビで議会放送を見るときは92チャンネルです。議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】

たんなんスマイルTV
091ch

【議会放送時】

たんなんスマイルTV
091ch **092ch** 議会放送 議会放送(重なった場合) 093ch

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。



12月定例会日程(予定)

月 日	時 間	会 議 名	丹南ケーブルテレビ 再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
11月26日(木)	午前10時	本会議(決算特別委員会審査結果報告・採決、提案理由説明)	11月27日(金) 午後6時
12月1日(火)	午前10時	本会議(代表質問)	12月9日(水) 午後6時
3日(木)	午前10時	本会議(質疑)	12月10日(木) 午後6時
4日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	12月11日(金) 午後6時
7日(月)	午前10時	本会議(一般質問)	12月14日(月) 午後6時
8日(火)	午前10時	本会議(一般質問 予備日)	12月15日(火) 午後6時
9日(水)	午前10時	教育厚生委員会	
10日(木)	午前10時	産業建設委員会	
11日(金)	午前10時	総務委員会	
15日(火)	午前10時	議会運営委員会	
17日(木)	午後2時	本会議(委員会審査結果報告質疑・討論・採決)	12月21日(月) 午後6時